

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 7 日(2025.4.7)

【公開番号】特開 2023-133290(P2023-133290A)
【公開日】令和 5 年 9 月 22 日(2023.9.22)
【年通号数】公開公報(特許)2023-179
【出願番号】特願 2023-100994(P2023-100994)
【国際特許分類】

F 1 6 J 9/26(2006.01)

10

F 0 2 F 5/00(2006.01)

【F I】

| | | |
|---------|------|---|
| F 1 6 J | 9/26 | C |
| F 0 2 F | 5/00 | A |
| F 0 2 F | 5/00 | G |
| F 0 2 F | 5/00 | N |
| F 0 2 F | 5/00 | L |

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 3 月 27 日(2025.3.27)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コートされた少なくとも一つの滑り面(12)及びフランク面(14)を有するピストンリング(10)であって、前記滑り面(12)の最上層は水素含有又は水素非含有の DLC 層であり、少なくとも一つのフランク面(14)、好ましくは下部フランク面(14)の最上層がクロム層であり、前記クロム層は 700~1200 クラック/cm のクラック率でクラック密度を有することを特徴とする、ピストンリング(10)。

30

【請求項 2】

コートされた少なくとも一つの滑り面(12)及びフランク面(14)を有するピストンリング(10)であって、前記滑り面(12)の最上層は水素含有又は水素非含有の DLC 層であり、少なくとも一つのフランク面(14)、好ましくは下部フランク面(14)の最上層がクロム層であり、前記滑り面と前記フランク面との間の移行領域で前記 DLC 層が前記クロム層と重複することを特徴とする、ピストンリング(10)。

40

50